

# あかるいまち21

No.1414 2021年7月2日組合員活動推進課 082-532-1264

	7月	2021年度
組合員ふやし	3人	334人
出資金ふやし	19万円	3,123万円
純増	16万円	△777万円

## 広島県高齢期運動連絡会の総会

6月30日(水)生協けんこうプラザで広島県高齢期運動連絡会の総会が開催されました。

昨年に続いて、コロナ禍のため役員プラス構成団体より1名の参加という変則的な総会開催となり、19名の参加でした。

冒頭昨年12月末に、連絡会の事務局長を担っていたいただいた、民医連事務局長の故斎藤孝司さんへの黙祷を捧げました。斎藤さんは「75歳以上の医療費窓口負担2割化法案」の上程をしないよう広島市議会議長へ陳情した翌日に、その訂正資料を議会へ届ける最中に亡くなったとの事でした。

事務局長に替わり、牛尾副会長が活動のまとめと方針案の提案をされました。牛尾さんは、「国民の命よりオリンピックの開催に血道をあげる菅政権は異常としか言いようがない」「自らの政権を維持するだけが目的。こうしたよこしまな政権運営をゆるしてはならない」「75歳以上の2割化法案は通ってしまったが、来年10月からの実行をゆるさないたたかいを継続していく」「高齢期運動の出発は一人ぼっちの高齢者をなくそうだったが、コロナ禍のもと多くの高齢者が一人ぼっちにさせられている。多くの高齢者に若い世代の人たちと一緒に働きかけよう」と呼びかけました。

また、構成団体の活動報告で、すこやか会の栗栖さんが1年を振り返っての発言をされました。構成員の高齢化問題はあるものの、その中でも宮島への紅葉狩りや、江波皿山での花見の様子や今後の活動スタイルの展望などを語っていただきました。

次期事務局長人事が未定のまま、変則的な人事ではありますが、全員の拍手ですべての議案を採択し終了しました。

